

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月9日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5/6号機 サービス建屋WゾーンとGゾーン境界の誤認について】 協力企業作業員が、5/6号機 サービス建屋屋上での作業のため汚染の恐れのない管理対象区域(Wゾーン)の休憩所からGゾーンである脱衣エリアに入ったところで忘れ物に気付き、装備品の脱衣およびセルフによる身体サーベイをせずにWゾーンに戻ってしまったことを、ガードマンに指摘された。 原因は、当該作業員がWゾーンとGゾーンの境界を誤認したものと推定。 今後、事実関係を精査し、再発防止対策を検討する。</p>	G II	11月2日
2	<p>【5号機 バッテリー室空調機(第一種特定製品)からの冷媒の漏えいおよび法令点検の未実施について】 5号機 バッテリー室空調機の取替に伴い冷媒を回収したところ、冷媒の回収率は40%程度であったことから、冷媒が漏えいしていると判断した。 また、当該室空調機は第一種特定製品に該当するため、フロン排出抑制法に基づく法令点検が必要であるが、実施していなかったことを確認した。 今後、詳細原因を調査し、再発防止対策を検討する。</p>	G II	11月4日
3	<p>【クローラークレーンの旋回ブレーキ不具合について】 クローラークレーン(つばめ)の始業前点検において、旋回ブレーキより異音を確認。 点検の結果、旋回減速機の足ブレーキ用ローターシャフトのベアリングが錆びていることにより、ベアリング不良による異音が発生していることを確認。 今後、ベアリングの交換を実施予定。 なお、交換完了までは、当該クローラークレーンを使用不可とし、関係箇所へ周知済み。</p>	G III	11月3日
4	<p>【J1エリアE8タンク水位異常の警報発生について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤に、J1エリアE8タンク水位異常を示す「貯槽タンク水位(J1-E8)入力不良」の警報発生を確認。 水位変動を伴う作業は行っていないが、水位計指示値の監視ができない状態を確認。 現場を確認し、当該タンクに漏えい等の異常がないこと、および当該水位計のケーブル接続状態・電圧等をチェックし、異常がないことを確認。 当該水位計の初期設定を実施するも指示が復帰しないことから、当該水位計の故障と判断し、今後、予備の計器と交換予定。 なお、計器交換するまでの期間は、隣接タンクJ1-E7タンクとの連結弁を1日1回開閉することで水位を確認できるため、系統への影響はない。</p>	G III	11月7日
5	<p>【6号機 非常用ディーゼル発電機(6B)凍結防止用分電盤ブレーカーNo. 2の動作について】 6号機 非常用ディーゼル発電機(6B)の凍結防止用分電盤ブレーカーNo. 2が動作したことを確認。 当該設備の、補機冷却系空冷式熱交換器(A)系の現場のヒータランプ全4箇所(入口側2箇所、出口側2箇所)の消灯、および4箇所の全てのランプボックス内に水滴の付着を確認。 絶縁抵抗の測定により絶縁不良であったことから、漏電によるものと判断。 原因は、ヒータランプボックスのシール材が劣化し、雨水等の侵入により回路不良が起き、漏電に至ったと推定。 今後、ヒータランプボックスのシール箇所を修理予定。 なお、当該機器の不具合については、直接的に非常用ディーゼル発電機の機能喪失に至るものではないため、冬期間であっても機冷却系ポンプの連続運転により、凍結防止対策は可能。</p>	G III	11月7日